

日本ジオパーク 霧島など認定証

北海道洞爺湖町で29日、日本ジオパークに昨年選ばれた鹿児島、宮崎の両県にまたがる霧島など3地域と、今年選ばれた福島県の磐梯山など6地域への認定証授与式が開かれ、各自治体の首長らに認定証が手渡された。日本ジオパークは貴重な

地形や地質が楽しめる「世界ジオパーク（大地の公園）」の日本版。

代表してあいさつした霧島市の前田終止市長は「今年は新燃岳と桜島の噴火で、自然と防災が結びついていることを感じた。さらに地域活性化に向けて努力したい」と抱負を語った。

ジオパーク認定は貴重な地形だけでなく、

環境保全や観光、教育面などを総合して判断。今回の9地域を含め、日本版には20地域を選出。日本ジオパーク委員会が申請し、うち糸魚川（新潟県）、室戸（高知県）など5地域が世界ジオパークに認定されている。



あいさつする霧島市の前田終止市長—29日午後、北海道洞爺湖町